

■■■■■火の島と水の島■■■■■

屋久島町議会だより

令和6年(2024年)3月8日 NO.65



町民の声カウンター

32

令和3年10月～
議会だより宛てに届いた意見数

第4回定例会 安房総合センター改修・・・P2

一般質問 8人が町政をたず・・・P10

多目的アリーナの基本計画の進捗・・・P16

オスプレイ墜落事故・防衛省からの説明・・・P17

令和5年 第4回定例会

安房総合センター改修

工事請負費
4800万円

最終的に工事の内容をどのように調整をし、工事完了時期をいつと見込んでいるのか。



大角利成

福祉支援課長 工事箇所は、正面玄関から見て、右側部分と調理室。右側部分については、基幹相談支援センターを奥のほうに持っていき、手前に安房出張所、今の出張所を観光協会のところに持っていき、その隣にフリーの会議室、部屋と奥のほうに福祉団体が利活用する部屋を用意するというので、設計は終わっている。完了時期は、まだ正確には言えないが、早ければ夏ぐらいには終わるのではないかというふうに思っている。

できるだけ早い事業完了をお願いすると同時に、工事に入ったら、町民の皆さん方が安房出張所等に足を運んだ際に、この改修の目的と工事内容等がある程度理解できるように資料を掲示して周知して欲しい。



大角利成

大会議室に、観光協会が一時入るといった話も聞いており、調理場や観光協会の今の現在の改修工事以外の部分をどう考えているか、2階のホールのこと、町はどう考えているか。

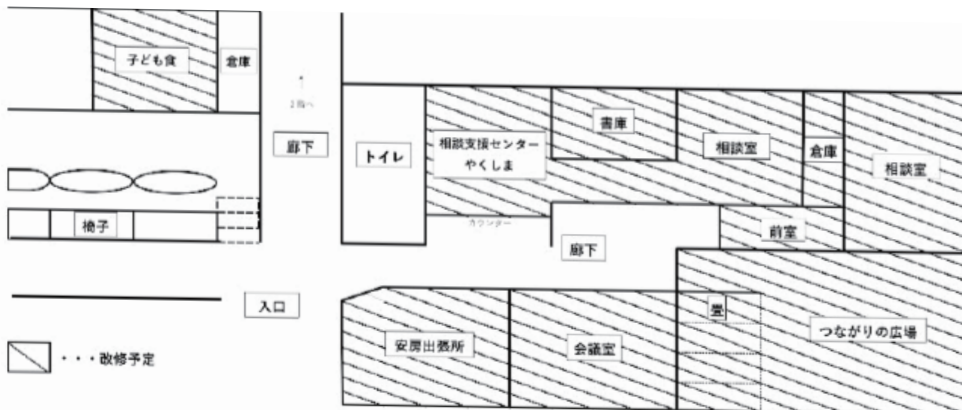


中馬慎一郎

福祉支援課長 これまで支所、庁舎利活用検討委員会でこれまで検討されてきたと思うが、福祉支援課としては施設の一部を福祉の拠点として活用するという構想を持っているので、2階部分の一部を子育て支援センターとして先行して開所した。1階部分についても、6年度には改修工事を終えて、福祉の拠点として利活用していくという考え。1階部分の改修に入ると観光協会が出ることになるが、観光協会についてはホールではなく、1階の会議室のほうに仮で工事終わるまで移転ということで話している。



1階の改修工事を予定している総合センター



改修予定の1階部分

現在の観光協会の場所に出張所を設置予定

物価高騰緊急支援 給付金

低所得世帯に対し
1世帯当たり7万円を支給
1億7500万円

政府、国会で通過した非課税世帯への7万円の給付。年内に支給してもらえないかという町民の声がある。政府も年内、もしくは年明けというふうに年内支給の可能性も示唆しているが、町としては年内に支給するという判断はないか。



渡邊博之

福祉支援課長 今回の物価高騰緊急支援給付金については、第1回目の3万円給付金に引き続き、物価高騰の負担感が大きい低所得世帯の負担軽減を図るために、低所得世帯に対し1世帯当たり7万円を追加で支給するもの。本町では、住民税非課税世帯及び家計急変世帯合わせて2,500件分を見込んでいる。全額国庫補助金。申請書については、年内に発送準備を整え、年明けすぐに発送し、3月初旬までの受付を予定し、年度内での支払いを完了する予定。

年内に色々買物もしたいと、そういう思いからずれている判断になるが、年内に発送できない理由は何か。



渡邊博之

福祉支援課長 1億7,500万円、全額国庫補助。この議決がおそらく21日になる。それから発送の準備をして、発送して、支給ということまで不可能。支給については、発送までは何とか、年末年始に届くような形になるかもしれない。

地域おこし協力隊

活動費の減額
503万円

地域おこし協力隊の予算が減額になっている。今年は2名が辞めて、また募集をかけていると思うが、その辺りの状況、また今後の動向などは。



中馬慎一郎

観光まちづくり課 今年度に入ってから4月に1名が自己都合により退任した。7月にも1名、任期前に退任をされて、現在は3名、口永良部島の延長の方を含めて、2名体制で協力隊を実施している。今後、協議をしながら、募集をかけていければというふうに思っているので、今年度中については残念ながら今の2名体制でいく。

地域おこし協力隊募集
～屋久島高等学校寄宿舎運営スタッフ～

ユネスコ三冠!
(世界自然遺産・ユネスコエコパーク・ラムサール登録湿地)

全国から集まる生徒が暮らす寄宿舎運営を行いながら、定住・定着に向けて取り組んでみませんか?

屋久島町では、町内唯一の全日制高校である屋久島高校の生徒数・クラス数の維持を目的に、令和2年3月に、屋久島高校と「屋久島高校魅力化プロジェクトに関する協定」を締結しました。そのプロジェクトの一環として、屋久島高校外高校生受入支援事業を実施し、令和5年度は、3年生：3名、2年生：1名、1年生：7名の計11名の生徒が屋久島で高校生活を送っています。今後さらに受入生徒の増加が見込まれることから、町では、長期的宿泊施設を借り上げて寄宿舎として運営し、多くの生徒を受け入れたいと考えております。
「屋久島の自然に魅了され、自然に暮らしたく屋久島高校に進学をしたい」という思いをもって一人でも多くを募集し、慣れない土地で頑張る生徒のサポートを町と高校と協力しながら行っていただける方を募集しています!!

◎主な活動内容

- ◆寄宿舎運営業務
全国の来訪リヤカー、清掃業務、業務日誌の作成等
- ◆食事(朝・昼・夜)の提供
買い出しを行い、朝食・昼食(平日は弁当)・夕食を準備
- ◆連絡調整業務
生徒・保護者・高校・町との連絡調整等その他、詳細は町に協議し決定します。

新たな試み

屋久島高校の寄宿舎運営スタッフを募集

動画でチェック

本会議の様子を動画で観ることができます



12月11日①



12月11日②



12月21日



総務文教常任委員会

口永良部島職員住宅の条例の制定

出張所2階に設置する、職員住宅2戸の管理のために必要な条例



口永良部島出張所



出張所の二階に設置された職員住宅

問 中馬慎一郎 単身用、世帯用とあるが、今、町内でも、やはり単身者がなかなか世帯者の町営住宅に住めないなどある。あまり単身用、世帯用というのは分けなくていいのではないか。もし世帯用にどうしても単身の方が入らざるを得ない状況があるときは、入居の資格に、「その他の町長が特別な事情があるもの」というものがあるが、そこできちんとクリアできるか。

答 総務課参事 部屋が広いほうを世帯用という位置づけをしている。でも実際ここに職員を住ませる場合は、職員の実態に応じて、特段これは単身だから単身じゃないと駄目だという考えはなく、その世帯の状況によってしていただきたい。逆に言うと、世帯であっても、狭いところ単身用に入っていたりすることがあるというふうに認識をしている。

問 渡邊博之 入居料が月9,100円あるいは1万400円となり、これは収入に応じて、この額は変化するのか。

答 総務課参事 公営住宅は所得によって金額が変動する。この住宅については、定額になっている。職員向けで、この住宅に設定をしている9,100円、世帯用の部分については、1万400円と設定しており、所得にかかわらず、この定額の金額が入居料になる。

問 渡邊博之 一般住宅は住宅料のほかに共益費がある。そういったところと比べて不公平にならないように。

答 総務課参事 階段に外灯があるので、それは共益費に当たるといふ指摘があればそのような形になるかもしれない。別途必要であれば、共益費ということも、検討して、追加改正も検討していきたい。

旧 JR ホテルの土地貸し付け と 温泉の権利



旧 JR ホテルに貸し付けしていた土地を
平川商事（サンカラホテル）に貸し付けをする上で
町が保有する温泉の泉源の権利（45%）についての議論



4月下旬にリニューアルオープンに向け工事中の
samana hotel 屋久島

問 大角利成 施設は、全て旧 J R の施設。
温泉の泉源の権利だけが町。泉源の
100%を相手側が使う。今回、土地も有料に
なったが、その辺の話はしたのか。

答 政策推進課長 経営譲渡の中で、温泉の
については、これまでどおり引き継ぐと
いうことなので、土地については、借地
料を支払うということで、きっちりと面積と
境界の確定をし、契約を交わしたところ。

安房小学校 特別支援教室の改修

問 大角利成 土地の貸付収入について、
当局の考え方が示された。温泉につい
ては、町の持分もあるが、温泉の貸付料を取
らない理由は。

答 政策推進課長 今回、J R さんから、平
川さん（サンカラホテル）に移るときの
協議の中で、土地については貸付料という話
が進んでいて、温泉については2分の1を持
つ。その権利の中で、維持メンテナンスにつ
いては、平川さんがするというので、温泉
については土地の貸し付けという形でしてい
ると思う。

意 大角利成 温泉については J R と町の両
方が出資をし、ボーリングをして、町
の権利は48ほどだったと思う。町も権利を
持っているのに話し合いのときに、温泉のこ
とは何も触れないのはおかしいのではないか。

問 岩山鶴美 安房小学校の特別支援教室
改修の件だが、その理由とその内容は。

答 教育総務課長 安房小学校に来年の4
月に肢体不自由児が入学の予定。それ
に合わせて、教室の改修を予定している。

問 岩川鶴美 これからのスケジュールは。

答 教育総務課長 この予算成立後、すぐ
設計に入る。あとは設計に入って入札、
4月に間に合うように、できるだけ早く準備
をする。前年の神山小学校の改修の工事のと
きに、入札をしてくれる業者がおらず、結局、
空調とスロープを先につけて、教室の改修は
夏休みということが起きてしまった。そうい
った心配があるが、できるだけ4月に間に合う
ようにはしたい。

産業厚生常任委員会

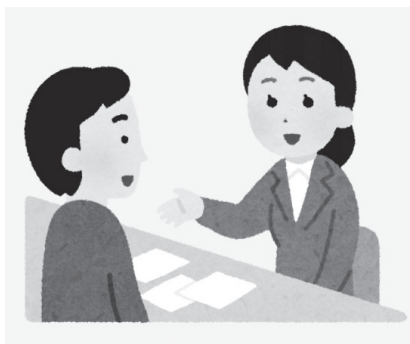
安房総合センター 改修

問 真辺真紀 資材高騰等があって、その費用をなるべく抑えたいということだが、今、工事の予定があっても、発注出来ないというような背景もあると思う。入札の予定はいつぐらいか。

答 福祉支援課長 明けて1月になると、建築のほうから聞いている。ただその後、落ちるかどうかわ不安はある。

問 真辺真紀 2階の子育て支援センターも、1回目の入札は成立せず、不調で、再度入札するという形になって、総合センターの1階部分も、そういう可能性があると思う。最終的に、入札が成立しなかったらもう契約も出来ないんで仕方がないことだと思う。工事が延びてしまうことによって、今、理解いただいている観光協会の方とは、工事完了が長くなる可能性があること等を協議をしているか。

答 福祉支援課長 観光協会の事務局長とお話をさせていただいて、実際のところ、夏から秋ぐらいということで、今のところ1階の会議室に仮移転をしてもらうということで、一応、9月までは押さえている。、それ以降になるという前提では、まだ当時は話してなかったの、今後、また観光協会のほうとも話をする必要はあるかと思っている。



ごみ処理施設 飛灰処理

問 日高好作 飛灰の数量は。処分委託が来年以降、受入れがストップするということだが、その後の搬出先のめどがついているのか。

答 生活環境課長 今年度、11月までに飛灰を約22トン、搬出している。これから、今回の補正を入れて、3回出すことになると思う。そもそも飛灰は、町の最終処分場に保管をするというのが当初の計画だった。飛灰を北九州に会社に出していた。今年度で4年目だった。飛灰を処理する会社は、北九州よりはるかに遠いところに設置されてるような状況。リサイクルの在り方と経費を見て、判断することになる。もし、出すところがないければ、町の最終処分場で処分というような形になると思う。



屋久島町クリーンサポートセンター最終処分場



最終処分場の内部

飛灰とは

ゴミ処理の過程で発生する排ガスに含まれるばいじん煤塵(集じん灰)

木育推進事業

一般にも広げては



八幡幼稚園で行われた「木育」のようす
インストラクターは福島木工の福島さん

問 岩川俊広 木育推進事業は、各小学校とか幼稚園などで講座を開いていると思う。これは、非常にいいことなので、一般にもこういった講座を広げていく考えはないか。

答 産業振興課長 今、木育インストラクターも活発に活動しているので、例えば集落とか、そういうところから要望があれば、木育インストラクターにつないで普及活動することは、良いと思う。

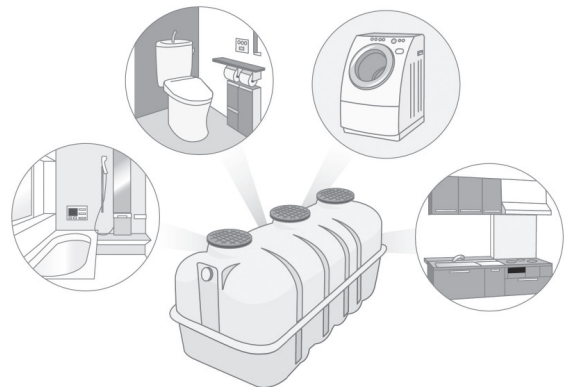
問 岩川俊広 年配の方なんかも時間的に余裕も出てきている。非常に興味を持っている方も多いんじゃないかと思う。

答 産業振興課長 木育インストラクターとも定期的に意見交換を行っているので、そういう意見があったということは伝える。

近年の浄化槽設置状況

問 真辺真紀 数年前から、単独槽から合併浄化槽にするほうに手厚く補助がつくようになった。単独槽から合併浄化槽に入替えをする世帯がどのように推移しているか。

生活環境課長 令和4年度は、合併処理浄化槽の新築による、設置数が20基。くみ取りからの転換が15基、単独槽からの転換が3基、合併処理浄化槽から合併処理浄化槽への更新が2基、合計40基。令和3年度、令和2年度については、新築の設置数よりも、くみ取り及び単独の転換数のほうが多いような状況が2年ほど続いて、昨年、また新築数が少し上回ったというような状況。令和5年度は、12月14日現在、新築数が15、くみ取り転換が12、単独転換が3、15対15というような形で推移をしている。



不快害虫駆除

問 日高好作 不快害虫は下半期、北部で増加傾向にあるという説明だったが、(予算を)減額をしてるということは、薬剤費等は十分に間に合うという判断で良いか。

答 生活環境課長 昨年度購入した分、今年度の上半期の分、害虫が出ようが出まいが、きちんと購入をして、在庫を保管しているというような体制をとっている。

令和5年第4回定例会 会期：12月11日～12月21日

12月11日(月)	開会 全員協議会
12月12日(火)	一般質問：榎光徳、中馬慎一郎、渡邊浩、真辺真紀、渡邊博之
12月13日(水)	一般質問：渡邊千護、相良健一郎、大角利成
12月14日(木)	常任委員会(総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会)
12月15日(金)	常任委員会(総務文教常任委員会)
12月18日(月)	全員協議会
12月21日(木)	最終本会議

	結果	内田正喜	小脇淳智郎	中馬慎一郎	真辺真紀	相良健一郎	岩山鶴美	渡邊千護	榎光徳	緒方健太	高橋義友	日高好作	岩川俊広	渡邊博之	大角利成	石田尾茂樹
令和5年度一般会計補正予算(第6号)の専決処分事項報告承認	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
神山小学校防災機能強化工事請負変更契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
人権擁護委員の推選	答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
職員の分限に関する手続き及び効果に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
一般職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
手数料条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
町営旭牧場条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
町営旭牧場子牛育成センター条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
町営長峰牧場条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
口永良部島職員住宅の設置及び管理に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
町立学校職員の給与に関する条例の一部改正	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
電気事業供給条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-

	結果	内田 正喜	小脇 淳智郎	中馬 慎一郎	真辺 真紀	相良 健一郎	岩山 鶴美	渡邊 千護	榎 光徳	緒方 健太	高橋 義友	日高 好作	岩川 俊広	渡邊 博之	大角 利成	石田尾 茂樹
令和5年度一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
令和5年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
令和5年度診療所事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
令和5年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
令和5年度船舶事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
令和5年度電気事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
世界自然遺産地域とユネスコエコパークにおける自然環境の適切な保護と利用及び持続可能な管理体制を求める意見書(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
米軍のCV22オスプレイの屋久島沖での墜落事故に関する抗議決議(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-

※議長は議事進行を行うため、原則として賛否の表明はしません。

教育委員の任命

まきせいちろう
牧瀬一郎 氏

教育委員として任命することに同意しました。

監査委員の選任

あさくらふみお
朝倉富美雄 氏

屋久島町監査委員に選任することに同意しました。

人権擁護委員の選任

てらだたくみ
寺田太久己 氏

人権擁護委員の推薦につき意見を求められ、意見の通り答申しました。

選挙管理委員の選出

ささきよしまさ
佐々木義政 氏

のむらよしはる
野村吉晴 氏

さかもとけんじ
坂本謙司 氏

にしかわやすのぶ
西川泰伸 氏

4名を選挙管理委員として指名推選し選出しました。



一 般 質 問

16人中 8人が一般質問しました

一般質問とは、議員が町の施策の状況や方針などについて、議会の場で報告や説明を求めたり、質問をすることです。

1人の議員に与えられる制限時間は60分です。
(一般質問は、議員本人の責任において掲載しています。)

榎光徳	P
1. 荒木町政4期目のビジョンは 2. グリーンエネルギーサミット(仮称)の立ち上げは 3. 中央中学校の校名変更は	10
中馬慎一郎	
1. 移住者対策 2. 安房山芋貯蔵庫の利活用 3. 資料編集、保存について 4. 今後の町の記念事業	11
渡邊浩	
1. 入会資源総合活用促進対策事業の効果は 2. 屋久島ぼんかん100周年記念事業	11
真辺真紀	
1. 米軍機オスプレイ墜落に関する対策は	12
渡邊博之	
1. 危機管理について 2. 子育て支援について 3. 国民保護訓練について	12
渡邊千護	
1. 離島カードの利便性向上等の対策は 2. 海底清掃プロジェクトの妥当性は	13
相良健一郎	
1. 農業振興について 2. 暮らし体験住宅について	13
大角利成	
1. 農業振興について 2. 集落活性化支援について	14



荒木町政4期目のビジョンは

問 刷新か継続かで争われた厳しい選挙戦を制し、4期目がスタートしたが、いくつものマニフェストの中で特に重要と捉える課題は。

答 町長 まずは屋久島空港滑走路延伸。島内全ての産業の起爆剤となり、町民の福祉の向上へも繋がる。国の予算を頂き、スピードアップを図りたい。この他、多目的交流センター(仮称屋久島アリーナ)、ごみ処理施設、旧支所跡地利用、口永良部島災害復旧等の早期実施を目指したい。

グリーンエネルギーサミット(仮称)の立ち上げは

問 脱炭素・CO2フリーの島づくり等、強く叫ばれる中、屋久島は水力発電自給率99.6%と圧倒的インパクトがある。世界遺産も去ることながら、別の角度から世界に発信する絶好のチャンスでは。

答 町長 以前より、そういう想いはあった。国・県も取り組んだ経緯はあるが、進んでこなかった。今、屋久島が先陣を切って百年の計に立ってやらなければいけない時期に来ているのではないかと思っている。

中央中学校の校名変更は

問 正しい校名ではない「屋久島中央中学校」の呼称や表記がなされているがどのように捉えているか。

答 教育長 最初の頃は「中央中」とだけ書かれていると、「どこの中央中ですか」などの問い合わせや子ども達が聞かれたりした経緯がある。

問 教員やPTAに聞いてみたが、改称できれば有難いとの声もある。当時「屋久島中央中」で議会へ提案したが、地域エゴにより「中央中」となった。県内も全国でも「中央中」だけの校名はない。島内では定着していると思うが、対外的にも改名を検討すべきと思うが。

答 教育長 変更となると将来の児童数減による統合問題もあり二度手間となる。



移住者対策の見解を問う

問 移住者対策として住宅支援などをはじめてからの効果、実績はどれほどか、また課題や今後の対策は見えているか。

答 町長 令和3年度から移住者住宅取得費用支援事業を実施し、新規転入者に対する新築及び中古住宅の取得費用の一部補助や空き家改修費用の支援、町外から本町へ移住する際の荷物運搬料及び自動車搬送運賃の一部補助を行ってきた。また同時に県の補助事業により、東京圏から本町に移住した者に対し、移住支援金を交付する事業も実施をしている。

本年度も、県の補助事業として、婚姻に伴う新生活に経済的な負担の軽減を図り、地域における少子化対策の強化を目的にし、結婚新生活支援事業を導入し、住居費、リフォーム費用の費用及び引越し費用に対し補助しており一定の成果は得ているものと考えている。もう一方で、今この島で生きている人たちがこれからどうやって島おこしをしていくかという事も考えていきたい。

課題として人口減少や高齢化は地域ごとに徐々に広がりを見せ、地域によっては地域活動が困難になっている。そういった地域にいかにか人を呼び込むかという問題に取り組むことで中心部との格差解消を図っていきたい。

意 補助事業の拡充も必要だと感じる。是非検討して頂きたい。また町のホームページでも見やすく掲載して欲しい。

安房山芋貯蔵庫の利活用についての見解は

答 町長 時代の変化とともに利用状況も多岐にわたることや、スポーツ団体が今後恒常的に利用しようとする場合には、施設の改修等も必要になることから、今後の利用方針も含め、関係課で検討をしていきたい。

本町の史料編集、保存事業の考えは

答 町長 可能な限りデジタル化しながら事業化できるように取り組んでいきたい。



いりあい
入会資源総合活用促進対策事業の効果は

問 昭和62年から鹿児島県の事業で入会資源総合活用促進対策事業旧屋久町時代、約30年ぐらい前にこの事業を実施しているが、この事業の経過と事業効果は。

答 町長 旧屋久町において、当時の県、入会林野等高度利用促進事業を活用して、昭和54年度に初めて船行地区で入会林野整備計画の認可が行われ、その後、平成12年度までの間に小島、尾之間、麦生、平内、原、湯泊、安房の合計10地区で計画が認可されている。複雑な権利である入会権を消滅させ、所有権等の近代的な権利に切り替える入会林野整備を行ったことにより、農林業上の土地の利用増進が図られたと考えている。

問 この入会のことについて、県庁の環境林務部経営課に赴き、話を聞いてきた。現在、鹿児島県内で16市町村に権限が委譲されている。町長、屋久島の集落区長さんや、地元住民からこの事業をぜひやっていただきたいというような声があったら、前向きに検討していただけるか。

答 町長 入会事業者等で組織される入会集団の自主的意思に基づく申出があった場合に実施されるべきであると認識をしているところなので、現段階では町としましては実施をする予定はない。

屋久島ぼんかん100周年記念事業について

問 来年、屋久島に台湾からぼんかんの苗木が導入されて100周年を迎える。屋久島の柑橘の基礎を築いた黒葛原兼成翁の功績は素晴らしいもの。町として、いつ頃、どのような規模内容で実施を考えているか。

答 町長 今回の100周年に当たっては、黒葛原兼成の遺徳を忍び、100年続いてきたぼんかんの歴史を振り返るような催しを行いたいと考えている。



真辺 真紀 議員

米軍機オスプレイ墜落に関する屋久島町の対策は

問 屋久島町長として、この事故について町民への説明と、広く世界に向けての声明を出す

べきではないか。

答 町長 事故及び捜索内容の情報については、九州防衛局第十管区海上保安部が統制して発表しているところ。世界に向けての声明は、政府において直ちに行っていることから、改めて発信する予定はない。

問 29日のオスプレイが墜落して、海の漂着物等に触らないでくださいという注意喚起をしたのは12月6日のこと。11月29日の事故を受けて、12月6日に皆さんに告知をするというのは随分遅いと思うがいかがか。

答 町長 町民に対する告知が遅くなったと思っている。もう少し早く注意喚起をするべきだった。

問 米軍と防衛局に対して今回の墜落の原因の開示を求めると同時に、今後同様のトラブルを起こさないための有効な対策が行われるまでオスプレイの全面飛行停止を求めるといった考えは。

答 町長 本事故については、今後、事故調査が行われ、政府から原因と再発防止の発表がなされるものと考えている。オスプレイの飛行に関しては、12月7日に米軍がオスプレイの全面飛行停止を表明したので、改めて表明をする必要はないと考えている。

問 米軍機が落ちたとしても、民間人がその残骸の回収をするということはまずないと思う。やらなければいけないのは、人命救助もだが、町民の命を守ることだと思う。町民の健康を害してしまったら、本末転倒になってしまう。

答 町長 細かい指示が出ていなかったというのは、今回の大きな反省点だと私も思っている。



渡邊 博之 議員

オスプレイ墜落について

問 空港沖のオスプレイ墜落事故への見解を求めたい。

答 町長 日本での犠牲者は始めてのこと。犠牲者の方に哀悼の意を表したい。

意 オスプレイは専門家が指摘する欠陥機。危険を顧みず人命救助に当たり、捜索と機体回収の間、漁場の規制で損害を受けた漁民への補償は当然だが、その費用は当の米軍ではなく国民の税金で日本が支払う、米軍からの謝罪もない。また、日本の航空法は守らず低空飛行を全国で展開しているなど、日米の屈辱的關係の大本に、日米地位協定と日米安保条約がある。

子育て支援について

問 町長が選挙で公約した子供医療費の窓口負担なし、学校給食の完全無料化はいつ頃を考えているのか。

答 町長 窓口負担なしは令和6年度から給食費無料化は令和7年度からと考えている。

国民保護訓練

問 武力攻撃を想定した訓練から、行政と区長と区民の關係が曖昧になって来ていると感じる。政治的責任が区長に及ぶやり方は慎むべきだ。区長の理解は区民の理解とはならない。政治課題は町が直接出向き、区民に説明、理解を求めべきで、区を下請け扱いするべきではない。契約書を見直すべきだと思うがどうか。

答 町長 区長は契約を拒否できる關係にある。今度の訓練は強制では決してない。

他に、庭木に電話線がかかり、木枝を切れない高齢者の声を届け、NTTの管理問題を取り上げました。



渡邊 千護 議員

離島カードの利便性
向上等の対策は

問 離島割引で航空機や高速船を利用する際に提示する離島

カードについて、更新手続きの負担をなくすためにも、マイナンバーカードで代用することを提案し、それを受けて町長は検討すると答弁していたが、その後、何か検討しているか。

答 町長 期限切れへの対応としての離島カード以外の身分証明書での対応については、本制度を導入する事業開始当初、鹿児島県及び熊本地区の市町で構成する運賃低廉化協議会と各事業者間で合意形成を行い、現行のルールで運用してきたところ。

問 高齢者の方々が、何か月かに1回、病院で鹿児島に行くとか、そういうときに町内放送で月1回、忘れていませんかという周知があれば、確認すると思う。(期限切れになっていると)高速船に乗る場合、差額が6,700円発生してしまう。

答 町長 個々が、行く前に、いつ病院に行くとか分かるのであれば、自分のことなので確認をしていく。自分で気をつけてやっていただければと思う。

海底清掃プロジェクトの妥当性は

問 善意で頂いた保全活動に使って下さいというお金を、頂いたお金を業者に丸投げするのか。開示請求をして、公費で(支出する事業費の)見積りが何で真っ黒なのか。これでは寄附をしていただいた方々に説明できない。

答 副町長 その見積りの提出については、業者が出したものの。業者に対して見積りの詳細について、公開することの同意を求めた結果、見積りとして公開することはやめてほしいという事業者の申出があったため、黒塗りになっていると理解している。

※一部、議員の発言に取り消しがありました



相良 健一郎 議員

農業振興について

問 約30年前に実施した南部地区の給水栓の更新を現在実施しているが、北部地区の給

水栓の更新について実施の予定はないか。又南部地区において更新の長期計画を予定しているか。

答 町長 永田地区、志戸子地区、楠川地区の畑かん施設の更新事業を計画している。南部地区の鈴岳地区畑かん施設更新については、事業着手後26年が経過をしていることから、令和11年度より施設の機能診断を実施し、令和14年度から施設更新事業に着手する計画としている。

暮らし体験住宅について

問 町内に4棟ある。その1棟が環境整備により入居できない状態だと聞いているが、いつ環境整備を行い、入居できるか。

答 町長 通常の作業以外で手間のかかる作業をする必要が出てきたことから、作業の目途がつき次第、募集をかける。(令和5年12月5日から町のホームページにおいて募集を掛けており、入居については3月1日から入居可能)

問 暮らし体験を長い期間空き家にしないで早めの入居はできないのか。

答 観光まちづくり課長 入居までに3か月ほど要する。作業期間含めて、できる限り空白期間を埋められるよう努めたい。

問 暮らし体験住宅を増やす予定はないか。

答 町長 島内の住宅状況を含め、使える部分は使い、移住者が住宅を探すことのない状況をつくっていかねば、移住政策がうまくいくのではないかと、移住者の定住及び空き家の解消につなげるよう取り組んでまいりたい。



大角 利成 議員

農業振興について

問 町長 4 期目就任にあたり、農業振興にどう取り組む考えか。

答 町長 たんかん園の若返りによる生産量増加と果樹新規作物を検討する。バレイショの安定収量確保と、パッションハウス等施設の更新補助、サツマイモ作付支援を検討する。お茶については、屋久島らしい高収益茶業、畜産については飼育技術の向上に努める。

問 カワヒコイモの作付拡大を図るべきと思うがどうか。

答 町長 令和3年度より実証試験栽培に取り組んでおり、有望な品目と考えている。引き続き他地域での試験を行う考えであり、作付面積の拡大、流通確保に向けて取り組んでいきたい。

集落活性化支援について

問 これまでの集落活性化支援事業の成果をどう評価しているか。

答 町長 地域住民の発意を尊重しながら協働意識を醸成するなど活動を支援することで、集落自治の活性化が図られたものと考えている。

問 新しい集落支援事業を制定すべきと思うがどうか。

答 町長 制度は令和5年度限りと定めているが、引き続き同様の支援は必要と考えており、令和6年度においても支援事業を講じたい。事業の継続もしくは見直しを含め、3月議会までには方向性を示したい。

問 支援金を増額する考えはないか。

答 町長 交付基準人口の見直しも検討したいと考えている。

請願・陳情

第4回定例会に提出された請願は1件
総務文教常任委員会に付託

防災行政無線の屋外拡声機を使っでの放送を必要最低限にして、それ以外の放送は戸別受信機にて放送することを求める請願書

- ・防災行政無線の屋外拡声器を使っでの放送は、有事の際の放送と、作動点検のための放送にしてください。
- ・作動点検のための放送は、必要最低限、適時にするようにしてください。
- ・それ以外の放送を戸別受信機で聞けるようにしてください。

もう少し議論、調査をすべき→**継続審査**

常任委員会現地視察

総務文教常任委員会

12月14日に小瀬田小学校、宮浦小学校中央中学校のトイレ施設及び多目的交流センター（仮）の候補地となっている宮之浦体育館の視察に行きました。



多目的交流センター候補地



学校のトイレの現状を確認

12月21日 最終本会議

議員発議による、意見書案2件、抗議決議案1件が提出されました。いずれも、全会一致で可決されました。

世界自然遺産地域とユネスコエコパークにおける自然環境の適切な保護と利用及び持続可能な管理体制を求める意見書（案）

宛先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、環境大臣、農林水産大臣、文部科学大臣

発議者 中馬慎一郎

世界に誇るべき自然環境を、持続可能な形で将来に遺していくため、下記の事項について要望致します。

1. 屋久島の世界自然遺産地域において、1993年の登録時及び1997年の再調査時にIUCNから境界線の幅について改善すべき課題として指摘されているとおり、核心地域の周辺を十分保全できるよう、自然遺産地域の管理計画を検討していただくこと。
2. 屋久島における世界自然遺産地域において、自然への人為的な悪影響を軽減する対策について、地元自治体の負担が生じないよう「世界自然遺産法（仮称）」の創設を含む、包括的な財政措置を講じていただくこと。
3. 世界自然地域やユネスコエコパークを有する屋久島・口永良部島住民の暮らしを総体的に向上させるため、国会内において「世界自然遺産議員連盟（仮称）」を設立し、議論の場を設けていただくこと。



米軍のCV 22 オスプレイの屋久島沖での墜落事故に関する抗議決議（案）

宛先：米国大統領、米国上院議長、米国下院議長、駐日米国大使、在日米軍兼第5空軍司令官

米軍のCV 22 オスプレイの屋久島沖での墜落事故に関する意見書（案）

宛先：内閣総理大臣、防衛大臣、外務大臣、九州防衛局長

抗議決議案、意見書案の内容は共通

議会運営委員会委員長 日高好作

11月29日、米軍横田基地に所属する米空軍特殊作戦機CV 22 オスプレイが、私たちの居住地域から極めて近い屋久島沖に墜落し、国内でのオスプレイ事故で初めて死者を出す重大事故となった。

複数の町民の目撃証言によると、事故機は両翼にある2つのエンジンのうち、1つから火を吹き出し墜落しており、機械的な不具合が原因である可能性が指摘されている。今回の屋久島沖での事故は、一步間違えれば住民を巻き込む大惨事につながりかねなかっただけに、墜落事故の衝撃は大きく、不安と恐怖は計り知れないものがある。

墜落事故の原因究明と有効な再発防止策が講じられない中で、飛行再開の可能性があることは否定できない。この状況は、屋久島町民始め、国民の不安感を著しくあおるものであり、断じて容認することはできない。

1、事故原因が究明され、有効な再発防止策が講じられるまで、飛行再開することがないよう徹底すること。

2、事故原因の徹底究明関連情報の公開を、くまなくかつ速やかに実施すること。

令和5年第6回全員協議会 12月11日

水道事業事前評価委員の選出

渡邊博之 今、適正な料金かどうかということ。その辺が非常に曖昧で、現在、水道事業がどうなのかと。多分赤字だということだというふうに思うが、諮問委員会というのは何か結論を出してもらいたいために、行政がやっぱり開くもの。その意味では、委員になってくださる方も、そういう予備知識というか、覚悟も持ってやらないといけないと思う。今の水道事業の実状はどうか。

生活環境課長 経済的には非常に厳しい状況。大都市部以外のほとんどの町村は、本町と似たような形で厳しい状況に置かれていると思っている。施設の老朽化といったものはどんどん進んでいる。現在の水道システムを維持するためには、一般会計からの補助もあるが、基本的には、特別会計、独立採算制が大前提となっているので、やはりこのシステムを維持するためには、多少の料金改定が必要になるのではないかと考えている。

今回の評価委員会の中で、その辺を含めて、いろいろ御協議してもらい、答申、もしくは報告というような形で上げて、条例の改正という形で、議会に諮って、最終の決定がなされるというような流れになる。

緒方健太議員、内田正喜議員の2名を選出

「屋久島離島開発総合センターと宮之浦体育館の後継施設（多目的アリーナ）の基本計画」の進捗

真辺真紀 11月2日の町民検討委員会で、町議会常任委員会及び各種団体の代表10名参加と説明があったが、団体はどこか。

政策推進課係長 区長連絡協議会会長、町の女性団体連絡協議会会長、町スポーツ協会会長、PTA連絡協議会代表、宮之浦区長、中央中学校PTA会長、屋久島高校PTA会長、

あと昨年度、公共施設再配置ワークショップの中で場所の提言もあった。参加した5名に協力をいただき、副町長を含め計15名の方に委嘱した。

真辺真紀 団体の代表の方は、その団体からの意見を持ち寄って参加されたのか、代表の方の意見を提案されたのかどちらか。

政策推進課係長 町文化協会については、事前に会長含め、別な音響の方々と別でヒアリングなどをした。スポーツ協会の方にも、事前に話をさせていただいた。そのほかPTAの方々などについては、そのときに初めて資料をお配りして、率直な意見をいただいているというような形になっている。

真辺真紀 場所は、地質調査が問題なければ宮之浦の体育館付近でということなので、もう決定していると思うが、パブリックコメント及び住民説明会で、場所の議論があったらどう対応されるのか。

政策推進課係長 丁寧にしっかりと説明をさせていただき、理解をいただけるという前提。この場所については、昨年度じっくり1年間かけて議論を重ねてきている。

渡邊千護 3月の住民説明会は全集落でするのか。

政策推進課係長 今の段階では、まだ詳しく計画していない。

渡邊博之 本町でも、庁舎問題が、議会に最初に提示したものと大きく狂っていったという過去がある。財政の基本である最低のコストで最大の効果ということ。コストをしっかりと考えていくということが、進める上で非常に大事だということを指摘しておきたい。この事業の最終的な、いわゆるコスト・経費はどの程度になるか。

政策推進課係長 町の基本設計によって町が積算して設計して発注するのではなく、外部のノウハウを使って、外部資金を調達しながら出来ないかという調査をしている。

令和5年第6回全員協議会 12月18日

オスプレイ事故に係る捜索状況について 防衛省、第10管区保安本部から説明

防衛省大臣官房公文書管理監の森田氏

- ・捜索救助活動に伴って、漁業関係者をはじめ、地元の皆様に御不便をかけていることについても、おわびを申し上げたい。
- ・これまで屋久島島内に、現地連絡調整場を設け、米軍をはじめ、陸海空自衛隊、海上保安庁、警察、消防、その他関係機関が連携し、航空機や艦艇による海面捜索、潜水員等による海中捜索、また、沿岸部の陸上捜索などを実施してきた。
- ・今最盛期のシマアジの漁への影響を最小限とすべく、漁ができる区域を明示させていただくなど、地元の方々の声に耳を傾けて、できる限り対応をとってきたところ。また今後もそのように対応していきたい。

議員からの質問

真辺真紀 実質的な漁獲制限に対して、どのような補償を検討されているか。

地方協力局九州協力調整課 原田氏 米軍による公務上の事故については、日米地位協定第18条の第5項、民事特別法、これらの規定によって、我が国が被害者からの賠償請求を受けて、米国政府と協議の上で賠償金額を決定し、被害者の同意を得て賠償金を支払うということとされている。今回のこのオスプレイの墜落によって、漁業関係者の皆様がこうむった被害についても、これらの関係法令等に基づいて、適切に対処していく。

渡邊博之 この事故は、町民に大きな衝撃、不安、恐怖を与えた。馬毛島の軍事基地化が実現すると、こういう事故が増え、危険性が高まるということ、私たちに教えてくれたと思う。

第10管区海上保安本部警備救難部長
大場氏より説明

- ・先月29日午後2時47分、当町の緊急通報番号の118番通報で、オスプレイが屋久島町沖に墜落したとの情報があり、当本部では直ちに対策本部を立ち上げ、屋久島町救難所に救助を要請するとともに、巡視船艇・航空機を現場に急行させるなど、捜索活動に当たった。
- ・現在においては、米軍発表のとおり、乗組員8名のうち7名までが発見されているが、海上保安庁においては、いまだ発見されていない1名について、自衛隊、米軍とともに、現在も捜査活動などを実施しているところ。

屋久島の上空は飛ばないということが約束されるか。

地方協力局九州協力調整課 原田氏 FCLPという訓練を、今後、基地が完成してから行うことになるが、飛行経路については、屋久島も、種子島の上空にもかからないという飛行経路になっている。緊急事態を除いて、島の上空を飛ぶことはないと認識している。

日高好作 機体そのものに問題があるような報道がされ、飛行停止というのは、異例の措置だと思う。何が飛行停止の判断材料になったのか。

地方協力局九州協力調整課 原田氏 米空軍が飛行停止をするにあたり、初期的な調査情報として、潜在的な物質的不具合が事故を引き起したことを示唆していると。根本的な原因は現時点で不明であるというふうに発表している。

町民との意見交換会 2月6日～9日

町内 8 か所にて、町民との意見交換会を開催しました。

中間12名、小島11名、麦生13名、春牧22名、長峰7名、楠川10名、志戸子5名、吉田9名
・・・計89名(男性70名、女性19名)

年代別：30代 9名、40代 9名、50代 12名、60代 22名、70代 37名

テーマ1 議員定数についてのご意見

現状維持

- ・定数16名で不具合があるのか、16でも問題ないのではないかと。
- ・町にお願いするには議員が必要。現場に来てくれて相談できるといいと思う。本当は20名でもいいと思うが今の16名でいいのでは。
- ・声を拾うには減らしすぎると・・・ある程度の人数がいらないといけないと思う。
- ・資料を見れば多く見え、世論で定数問題があることもわかるが、屋久島町は合併して行政区が広がっている。増やすという選択肢はないのか。個人的には今の16人が妥当。増減もその前後までと考える。

削減

- ・公費削減すべきではないか
- ・定数16のままであれば報酬減すべきでないか。
- ・他の自治体と比べて面積も加味されるのか、ほとんど人口比で決まるのではないかと。
- 定数16の他の鹿児島県内自治体の人口の割合からすると多いのではないかと。
- ・今の定数になって10年ほど、見直しの時期に来ていると思う。いろいろな状況を見ると12名と言いたいが14名かなと思う。
- ・1000人に一人が妥当
- ・3割減らしたら1700万円浮いてくる
- ・12名にして報酬2万5000円アップ

その他

- ・議員の中で、定数減の話がでてきているのか。
- ・来年9月このままの定数で行くのか。
- ・議会としてコンセンサスはあるのか。
- ・町民からすると、そもそも議員の定数が妥当なのかわからない。栗生～中間には議員はいない。今の議員さんが中間～栗生の実態を把握してくれているか。要は、住民の意思を吸い上げることのできる人数(定数)にするべき。
- ・今回のテーマは議員の身分に関する事。時間をかけてでもすべての集落ですべきで、そのほうが丁寧である。県内や全国の状況を見ると1000人に1人ぐらいでカバーできている。
- ・住民の声が町政に反映できること。議員にはそういう意識で活動してほしい。
⇒島内の優秀な人材を活用するため、いろいろな意見を集約できる会などができればおもしろいと思う。
- ・地域の声を拾い上げるのが大事な仕事であると考えており、人数の問題だけではない。



各会場で、たくさんの意見をいただき、ありがとうございました。

紙面の都合上、すべての意見を掲載できませんが、屋久島町ホームページの「議会ニュース」に掲載しますのでぜひ、ご覧ください。



テーマ2 自由討議

- ・ 町民との意見交換会。他の集落でも多く開催してほしい。
 - ・ 議員は他の集落の役員会に参加してほしい。
 - ・ 離島割引制度、始まった時から比べると高速船の料金などがあがっている。運賃の値上がりも厳しい。
 - ・ 海拔の低い地域の施設、高台移転は必要だが、その後、低い地域へのカバー（交通）まで組み合わせて考えるべきである。
 - ・ 尾之間支所跡地の現状、集落に対して説明してほしい。
 - ・ 健康の森グラウンド・安房体育館の今後。複合的なビジョンを示してほしい。
- ⇒実業団の誘致などできるような・・・北部南部という考えはやめて、屋久島はひとつという考えで進めてほしい。
- ・ 2050年にカーボンニュートラルに向けてジェット機は環境汚染になるのでジェット化反対。2035年に向けてクリーンエネルギーや新エネルギーを要望する。
 - ・ 全集落に災害時の救援物資を保管してほしい。執行部は尾之間や宮之浦に保管しており各集落に配布するというが、栗生～中間に迅速に届くのか不安。

⇒各集落が災害についてどう考えているのか吸い上げてほしい。

- ・ 能登半島地震、孤立の問題解決が必要。避難所の検討やハザードマップによる周知。

⇒避難所が土砂災害の警戒区域内となるところや海拔の低いところもある。

- ・ 防災について、環境モニタリングをしてほしい。

- ・ コロナがはじまる前の屋久島は防災訓練がない。一度も全島での町としての避難訓練をしていない。

⇒橋の決壊・地域が分断した時の判断、外国人観光客がいたときの判断は。

⇒口永良部島噴火の日を防災の日としてやってはどうか。

- ・ 人口減で区費の収入が少ない。ふるさと納税活力アップ交付金中味を変えて継続要望。

- ・ ぽかぽかの木（子育て支援センター）は、土日やっていない、雨の日、体育館の開放し遊び場・屋根付きなど子育て支援をしてほしい。

- ・ バスの便数が少ない、コミュニティバスや福祉バスをしてほしい。

- ・ 限界集落、町としてどう考えているのかホームページで他の自治体では少子高齢化対策として人口を増やせる施策を積極的にしている。

町民の声

- ・国語的には、文頭は1字あけてください。
- ・行の右端を揃えてください、見やすくなるはずです。
- ・議事録に忠実なあまりに、繰り返しや変な表現になっている箇所があります。
- ・情報を詰めすぎないで、焦点化されているので、とても見やすく、読みやすくなっています。

ご意見ありがとうございます。ご指摘いただいたことに注意しながら、読みやすい広報誌を編集できるように努力します。

議会の動向

日付	内容
1 3	ふるさとを想う二十歳の集い(離島開発総合センター)
6	消防出初め式(安房)
20	商工会新春賀詞会(宮之浦)
22	第1回議会運営委員会
24	議員研修会(鹿児島市)
2 6-9	町民との意見交換会
13-15	交通対策特別委員会行政視察(鹿児島市・熊本県)
16	種子島屋久島振興協議会第2回総会(鹿児島市)
	県下一周駅伝競争大会激励会(鹿児島市)
	県職員熊毛会総会(鹿児島市)
17	県下一周駅伝競争大会チーム見送り(鹿児島市)
18	サイクリング屋久島後祭(尾之間)
20	鹿児島県町村議長会第75回定期総会(鹿児島市)
	鹿児島県離島振興町村議会議長総会(鹿児島市)
25	屋久島町生涯学習大会(離島開発総合センター)
26	第1回熊毛地区消防組合議会定例会(西之表市)
3 1	屋久島高校卒業式
	第2回議会運営委員会・第1回全員協議会

編集後記

コロナで実施できていなかった、町民との意見交換会を、2月6～9日によりやく実施することができました。さまざまな声を聞かせていただきましたが、特に防災についての意見が目立っていました。

避難所の位置や災害備蓄品について、早急な手立てが必要であることを、あらためて考える機会になりました。いざと言う時の備えについて、的確に求めていきたいと思います。

渡邊千護

町民との意見交換会 2月6～9日



各会場でたくさんの声をお聞かせくださり、ありがとうございました。

ご意見募集

広報委員会では、町議会に対する皆様のご意見を募集しています。生活のお困りごとや、町政への提言、取材の申し込み等、以下の方法によりご連絡ください。ご氏名、ご住所、ご連絡先、ご意見等の内容が分かるようお願いいたします。

郵送：〒891-4207 屋久島町小瀬田 849 番地 20
議会事務局(広報委員会) 宛て
Mail: gikai@town.yakushima.kagoshima.jp
LINE: @599vfnm
(右のQRコードでも登録できます)



議会を傍聴しませんか

次の定例会の予定は

3月 7日 開会
3月 8日～ 一般質問
3月 21日 最終本会議

※都合により変更となる場合があります。
※傍聴の際は、感染症対策のため、手指の消毒等にご協力をお願い致します。